

東海大学工学部と災害時におけるドローンの活用について 合同で実証実験を行います

東海大学工学部の協力を得て、災害時におけるドローンの活用について実証実験を行います。

同大学が所有する3次元レーザースキャンを備えたドローンを飛行させ、2024年8月30日(金)に土砂崩落が発生した国道246号線 新善波トンネル周辺などの地形をスキャンします。

スキャンしたデータを基に3次元マップを作成し、完成したマップデータは、今後の災害対策における検討資料として市へ提供していただきます。

1. 日時

令和7年9月24日(水) 午後1時30分～3時30分(予定)

2. 場所

県立いせはら塔の山緑地公園周辺(三ノ宮1804-1)
国道246号線 新善波トンネル周辺(善波地内)

3. 出席者(予定)

東海大学工学部長 山本 佳男 教授 ほか学生2名
市危機管理課職員2名

4. 当日の流れ

午後1時30分から「いせはら塔の山公園」にてドローン飛行・レーザースキャンを行い、終了次第、新善波トンネルへ移動し、同様にドローン飛行等を行います。

5. 取材について

取材・撮影を希望される場合は、以下の問い合わせ先までご連絡ください。

担当・問い合わせ先

危機管理課 電話：0463-94-4865 / メール：kikikanri@isehara-city.jp